

～会長の時間～

【五大奉仕 職業奉仕編】

職業奉仕

職業奉仕とは

職業奉仕の目的は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理念を生かしていくことといわれています。

ロータリーが発足して間もなく、アーサー・フレデリック・シェルドンが提唱した” He profits most who serves best”「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というモットーのもと、ロータリアン一人ひとりの責任として、各々のロータリアンが各自の職場で個人的な貢献を行ってきました。一時、決議23-34に見られるように、職業奉仕・社会奉仕に関する論争がおり、ロータリー分裂の危機を迎えたこともありました。職業奉仕はロータリーの看板として、ことに日本のロータリアンに信奉されてきました。

職業奉仕の原則

会員の減少によってすべての奉仕団体は存亡の危機に立たされています。それを打開するためにも、ロータリーの固有の奉仕理念は変えてはなりません。ロータリーが他の奉仕団体と本質的に違う点は、職業奉仕の概念を持っていることです。職業奉仕の概念を捨て去って、ボランティア組織に移行することの愚かさを自覚しなければなりません。今からボランティア組織に看板を塗り替えたところで、数ある先発ボランティア組織の影に埋没してしまうことは必至です。

ロータリークラブ、ことに日本のロータリークラブをあくまで職業奉仕の団体として、守り育てていくことが大切です。職業奉仕はあくまで、個人奉仕であるという原則は貫いていくべきでありましょう。

RLI パートⅢ修了証 RLI 卒業証書



100%出席者表彰

北陸銀行常務執行役員 浅林 孝志様



辻田さん

大きな大きな
大納言柚子

ありがとうございます！